

都道府県名：宮城県	市町村名：登米市
<p>1. 活動名 みどりの森を次の世代へ「市民参加の新たな森林づくり」</p>	
<p>2. 取組の背景、目的 登米市では、市民参加の下で環境と産業が共生する持続可能なまちづくりを目指しており、森林・林業に対する理解を深めてもらう機会として、地元のみどりの少年団をはじめ、市内外から参加者を募集し、人と自然の交流を図るために植林活動を実施している。 特に、登米地域事務所では、次代を担う子供たちに、森林の持つ多目的機能の役割や森林を育てるための仕事の重要性を学ばせる目的で、地元関係者と連携し、広葉樹を題材にした植樹イベントや森林体験学習を通じて学校教育の支援を行っている。</p>	
<p>3. 実施主体 米川生産森林組合、登米市、宮城県</p>	
<p>4. 取組の概要 平成21年度は森林組合や林業研究会の協力のもと、5種類の広葉樹（コナラ、クヌギ、ヤマザクラ、エンジュ、カツラ）800本を植栽した。また、市と県、森林組合等が連携し、春と秋の年2回開催している好例のイベントであり、今年で4年目を迎える。宮城県森林インストラクターの講話「森の話」や、地球環境問題をテーマにした「戦隊ショー」を交え、楽しみながら森林・林業を学ばせている。</p>	
<p>5. 支援事業</p>	
<p>6. 取組等についての成果や課題 みどりの少年団を育成している学校では、春と秋に森林の働きを学ぶ野外活動が定着しているが、この新たな森林づくりの取組が一過性のものでなく、更に参加対象者を広げるためには、環境面を含めた森林学習について、学校関係者の理解と関心を高めることが不可欠であり、指導者との連携により地域独自の体験メニューやカリキュラムの設定を進めたい。 地域住民や関係機関などが一体となって、将来を担う子供たちに身近な森林の働きを学ばせる取組が、長期間にわたり持続されるよう、各種林業団体等からの協力を得ながら環境教育を支援したい。</p>	



広葉樹の植栽(春)



どんぐり捲き(秋)



林内で記念撮影(秋)



植林活動(秋)